

平成16年10月教育委員会定例会会議録

報告事項

報 第17号 県立高等学校再編整備計画（案）に係る対応について

潰滝総務課長から、平成17年度は、大成高校について生徒募集を行う。それ以外の再編整備計画（案）全体については、さらに関係方面と十分に意見交換を行いながら、慎重に最終案を作成していくということを、平成16年10月13日10時30分に報道発表を行ったとの報告があった。

委員からは、大成高校の生徒募集について、記者発表の様子や関係方面の反応、その他の計画（案）について、古座高校など他の学校の反応についての質問があった。課長からは、記者発表時などの様子から、成案の発表時期に関心が集まっているようであり、今後、関係方面と意見交換を行っていく。大成高校の平成18年度以降の生徒募集については、全体の募集定員の議論の中で行っていく必要がある。また、その他の計画（案）及び古座高校など他の学校の反応については、特に具体的な意見はなかったとの回答があった。

委員からは、大成高校の生徒募集停止ばかりが話題になっているが、地域の方々になぜ募集停止にする必要があるのか、それにより生徒にどんなメリットがあるのかを説明し、納得して頂くように努めなければならない。また、反応がないのは再編整備計画（案）が廃案されたと受けとめている可能性があるもので、そうではないということを周知するとともに、手続きの過程や統合によるメリットをより詳細に説明する必要がある。なお、今後、成案の作成に当たっては、あらためて協議の場を設け、最良の案を得るようにされたいとの意見があった。

以上の意見交換の後、報告のとおり承認した。

報 第18号 平成17年度管理職候補者選考検査第一次検査結果について

山路小中学校課長から、9月17日に実施した選考検査について、校長の部60名（うち自己推薦2名）、教頭の部77名（うち

自己推薦無し)の合格者があったとの報告があった。

委員からは、自己推薦の実施状況について質問があり、課長からは、昨年度まで受検者数に上限を設けていたが、今年度からそれを無くし、自己推薦枠を設けた。人物評価については、第二次検査で判断したいとの回答があり、報告のとおり承認した。

報 第19号 平成17年度管理職採用特別選考検査出願状況について

山路小中学校課長から、管理職採用特別選考検査（民間人校長採用）の応募状況について、募集定員4名に対して8名の応募者があったとの報告があった。委員からは、応募者の県内外別人数と職歴について質問があり、課長からは、8名中5名が県内で、3名が県外であり、職歴は種々様々であるとの説明があった。また、委員からは、教育問題が山積する現在、民間人の管理職登用については、研修の充実や教育委員会のサポートが重要であるとの意見があり、報告のとおり承認した。

報 第20号 平成16年度社会教育功労者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰候補者の推薦について

一山生涯学習課長から、ボーイスカウトのリーダーの育成に力を注ぎ、日本ボーイスカウト和歌山連盟副理事長、財団法人ボーイスカウト日本連盟評議員を務めた1名を候補者として推薦した旨の説明があり、報告のとおり承認した。

報 第21号 管理職人事（案）について

山路小中学校課長から、町立小学校の教頭の後任として、東牟婁教育事務所指導課長を発令した旨の説明があり、報告のとおり承認した。

付議事項

議案第22号 和歌山県立近代美術館協議会委員の委嘱（案）について

前山文化遺産課長から、協議会委員は館の運営について館長の諮問に対して意見を述べるため 条例で規定されているもので、今

回新たに、行政経験もあり美術に造詣が深い医師1名と留任12名の計13名を委嘱したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第23号 和歌山県立近代美術館・博物館名誉館長の委嘱（案）について

文化遺産課長から、和歌山県立近代美術館名誉館長等設置要綱及び和歌山県立博物館名誉館長設置要綱に従い、豊富な行政経験と高い識見を有する、前和歌山県副知事の中山次郎氏を平成16年11月1日付で和歌山県立近代美術館及び和歌山県立博物館の名誉館長に委嘱したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第24号 平成17年度和歌山県立高等学校生徒募集定員（案）について

板橋県立学校課長から、上記生徒募集定員（案）についての説明があった。委員からは、大成高校の出願予測数について質問があり、課長からは、予測は困難であるとの回答があった。委員からは、募集に際しては、学校は勿論、県教育委員会も出来る限りの努力をする必要があり、推薦入試を活用するのも一つの方策であるとの意見が出された。

委員からは、高等学校再編整備計画（案）の成案を発表する時期について質問があり、教育長から、大成高校の状況のみで判断できないが、推薦入試以降の状況を慎重に見極めながら適切な時期に判断したいとの回答があった。また、委員から、大成高校の募集に関して、中学校の進路指導が順調に行えるような配慮を想定しているかとの質問があり、総務課長から、海南・海草地域の中学校校長、PTA会長などにより一層の連携を深めるように努めるとの回答があり、審議の結果、原案どおり決定した。

議案第25号 教職員の処分（案）について

県立学校課長から、県立学校の教諭を処分したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第26号 管理職人事（案）について

県立学校課長から、県立学校教頭と市立学校校長の人事異動についての説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。